

平成30年度冬期企画展 九谷のカタチ

平成31年1月16日(水) ～ 平成31年4月15日(月)

空間を飾る



九谷磁器窯跡 (国指定史跡)

九谷焼窯跡展示館

Kutaniyaki Kiln Ruins Exhibition hall

〒922-0242

石川県加賀市山代温泉19-101番地9

Tel 0761-77-0020 Fax 0761-77-0031

開館時間 9時～17時 (入館は16時30分まで)

休館日 火曜日 (祝日の場合は開館)

入館料 一般310円、75歳以上150円

団体 (20名以上) 260円

高校生以下及び障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：加賀九谷陶磁器協同組合



今回の企画展では、「空間装飾」をテーマに、「花」を飾る「花器」、「香り」を飾る「香器」、それ自体が空間を飾る「飾り皿」や「飾り壺」を展示します。

人は古来より、生活の中に彩りを添える為、また、人をもてなす為、身の回りに様々なものを飾り、楽しんで来ました。

「花」を生けることで自然をより身近に置き四季の風情を慈しんだり、「香」を置き、それを焚くことでその場を清め、心を整える一助としました。

そしてその行為は精神的な領域にまで高められ、「華道」、「香道」、「茶道」として私達日本人の文化に深く根ざすこととなりました。

また、九谷焼は非常に装飾性の高い焼き物として知られています。

掛け軸や屏風を設えるように、皿や壺を飾ることはそれを観る人の中に華やかさや趣深さのような感情を生じさせます。

「想いを容れる」—これもまた器としての実用性の一つといえるのではないのでしょうか。

「空間を飾る」ことは、飾る「人」が、飾られる「物」と「場」で綴る「物語」—今回展示の作品がきっかけとなりご覧いただいた方々がご自分の「物語」を見つけていただければ幸いです。



灰皿 (三彩抄より)



交趾丸龍 香合



水蓮 壺

九谷磁器窯跡  
(国指定史跡)

## 九谷焼窯跡展示館

KUTANIYAKI KAMAATO TENJIKAN

〒922-0242 石川県加賀市山代温泉19-101番地9

Tel 0761-77-0020 Fax 0761-77-0031

メール:kamaato@kagacable.ne.jp

● 開館時間

9時～17時(入館は16時30分まで)

● 休館日

火曜日(祝日の場合は開館)

● 入館料

一般 310円、75歳以上 150円、団体(20名以上) 260円  
高校生以下と障がい者手帳をお持ちの方は無料

